

7月
3日
(木)

9日目

原爆症認定集団訴訟・長崎 座り込みニュース



座り込み

支援する会ののぼり旗がはためく中、平和祈念像前で40名、座り込みをおこないました。

森内原告団長は支援のお礼と全員勝利まで頑張る決意を述べました。

今日の座り込みは原水禁が責任団体で、中崎会長は、ビキノ水爆被爆の被爆者、そして平和運動の歴史について話し、今もなお原爆被害を過少評価する政府の姿勢を批判しました。

連合長崎の小石事務局長は激励と連帯の挨拶をおこない、理不尽な控訴であり、この運動を最後まで支援すると述べました。

核禁会議の川村議長は国民いじめの行政を批判し、このような取り組みにこれからも参加していくと話しました。

被爆連の川野議長は、原爆症の積極認定が被爆距離、時間、病名などで線引きされることの矛盾と国への怒りを述べ、参加者にこれからも支援、協力をお願いしたいと訴えました。

支援する会の谷口代表委員もさらなる支援を訴えました。

最後に被災協の田中理事より、いよいよ明日は締めくくりの座りこみなので、ぜひとも参加をと訴えました。

街宣車での行動

7月2日14時から17時まで、この日も被災協の相談員4名と理事1名が参加し、山田事務局長がマイクを握り、滑石、住吉市場などでチラシを配布しました。

参加者の感想では、浜の町等での街宣よりもチラシを受け取る人が多く、「お疲れ様」「頑張ってる」と言われ、反応が大変良かったということです。お疲れさまでした！

全国で取り組まれた「原爆症認定制度の抜本的改定を」の署名は6月29日現在、約80万筆に！！
ご協力ありがとうございました。

7月7日、金子知事に原告団、弁護団、支援する会が面談し、支援を要請します。

最後の座り込み、総力
あげて、参加を！！

7月4日(金) 12時～13時 座り込み 平和祈念像前 (雨のとき被災協会議室)

7月5日(土) 14時～15時 街宣(浜の町鉄橋)

7月7日(月) 13:30～2陣原告・第13回口頭弁論

13時までに長崎地裁1階ロビーにおいでください。傍聴参加をよろしくお願いいたします。